

海老名市立門沢橋小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第3回)

- 1 日時 令和5年2月8日(水) 10:00~11:30
- 2 場所 海老名市立門沢橋小学校 校長室
- 3 出席委員 牛村忠雄委員長、仲谷薫委員、佐川滝三委員
大河原俊一委員、関谷めぐみ委員、武井友勝委員
西海豊道委員、後藤純子委員、潮田佑介委員

4 会議の内容

(1) 会長挨拶

牛村会長：今年もよろしくお願ひいたします。2月4日にコミュニティスクール連絡会があり出席してきました。連絡会では市よりコミュニティスクールの説明があった。学校と地域がどのように支援していくかが基本で、さらに行動面では国は最終的に学校の教育課程にも地域がかかわってほしいというところまで考えている。その後情報交換があった。他校の状況もこの協議会と同じで学校から運営状況に関する説明を受けて、それに対する質問なりご意見なりを委員が言っていく、さらに支援をどうしていくかという形だった。特に市内でも柏ヶ谷中学校区は進んでおり、年に10回程度このような会を開催している。本日も地域と連携したという議題があるので、活発なご協議をお願いします。

(2) 校長挨拶

後藤校長：50周年式典へのご協力ありがとうございました。また記念誌の訂正がございましたので、修正したものを配付させていただきました。今回は第3回となります。会長からも話があったように、地域との連携について皆さんからご意見等いただきたい。

(3) 報告

○学校評価結果の情報提供について

潮田委員：学校評価結果について説明いたします。冊子をご覧ください。全体的には昨年度の結果と大きな変化はございません。肯定的な部分での特徴としては、学校が好きであること、登下校の安全が守られていること、宿題をしっかりとやっていることなどが挙げられる。否定的な部分としては規則正しい生活ができていないこと、宿題以外の家庭学習を行っていないことが挙げられます。どちらの部分についても傾向としては特に例年と変わらない結果となっています。また、資料にはありませんが、中学校区3校の比較も行いました。中学校区全体を見ても同じような傾

向が見られます。あらに自由記述には登下校時の危険個所についてのご意見がいくつかありました。そちらについては今後PTAの地区委員さんたちとも情報共有しながら市教委に報告をする予定です。

佐川委員：肯定的、否定的とはどういう質問なのか

潮田委員：当てはまる、やや当てはまるが肯定的、やや当てはまらない、当てはまらないが否定的となります。

武井委員：早寝早起きについては学校で指導をしているのか。

後藤校長：保健指導で学年ごとのめやすとして何時間睡眠しましょうということは指導している。

関谷委員：9時に寝る質問に対して9時15分ではダメと感じて、できていないと素直に答えている子もいるかもしれない。

武井委員：そうすると学年でばらつきがあるのかもしれない。

西海委員：毎年比較ではなく、5年前などと比較して検証するのもよいかもしれない。

佐川委員：アンケート結果を学校としてはアクションを起こすのか？

潮田委員：通学路の危険個所については、地区委員と情報共有し次年度市へ報告する。また、学校の教育活動に関するところについては、職員のグループ組織で次年度に向けて改善案を出していく予定。

武井委員：自由記述にあった門沢橋5丁目の危険個所についてのご意見などはまさに地域と連携しながら対応していけるところだと考えている。

関谷委員：倉見との境の踏切については交通ルールを守ることができていないようなので朝もPTAで対応していく状況。

牛村会長：今は交通安全に関する要望をまとめて市教委へ出していないのか。

後藤校長：市へ地区危険個所の改善要望は例年出している。

牛村会長：門沢橋5丁目の危険個所については、どのような対応ができるのか。

武井委員：右左折直進全て進入禁止なので警察等に働きかけるとよい。

関谷委員：朝の時間帯は警察がいないことが多い。

牛村会長：まず自治会のほうで危険個所の改善要望を出していただくことはできないか。5、6年前になるがこの会で有馬コミセン前の踏切の信号待機場所が狭かったの、市に言ったら広くしてもらえた。おそらく市は動いてくれる案件であると考えている。

後藤校長：学校としても要望を伝えていく。

佐川委員：車だけではなく自転車についても怖い思いをしたことがある。

牛村会長：保護者の質問項目の12「私は、PTA活動や学校行事に積極的に参加している。」の肯定的な回答が少ないように感じる。このあたりについてはどうお考えか。

関谷委員：コロナ禍においてPTA委員の募集方法が変わったため積極的に参加している方としていない方に考えに差異がある。希望者のみとしているため本部役員

等がなかなか集まらない年もある。以前と比べて保護者の方々も日々のお仕事等で時間がないため、積極的に関わっている人が限られている。

牛村会長：P T Aに入っていない家庭はあるのか。

関谷委員：P T Aに加入していない家庭はいないが、委員はできないというところが多い。ただ稲作活動などの行事のお手伝いは参加してくれる方々もいる。

西海委員：P T A会長になると市の行事等への参加等付随する役がたくさんある。関連する仕事が多いので役員やりたくないという考えは以前からあった。

牛村会長：会長に付随する役等の削減をぜひ市に働きかけてほしい。

(4) 議事

○地域と連携した教育課程について

牛村会長：議事とありますが内容について学校のほうから報告をお願いします。

後藤校長：A 3の資料は来年度にむけて作成したものととなります。新しい学習指導要領では、子どもたちは学校だけではなく社会に開かれた教育活動の中で育てていくとされている。今地域と連携している教育課程についてこちらのシートにまとめてみた。網掛けは本年度も実施したのものとなる。1段目は教科(生活科など)のところ、2段目は学級活動、3段目は稲作活動となっている。門沢橋小学校は地域連携でいうと稲作というほど稲作活動に大きな関わりを持っている。残りの学習活動等については、つながりという視点で現在まとめているところである。皆さんにも資料を見ていただいて、足りないところやどのような方々が関わっていたか等教えていただきたい。また地域とのかかわりという部分でも地域の現状も教えていただきたい。

牛村会長：稲作活動は協力員で間に合っているのか。

後藤校長：稲作協力委員とP T Aにご協力いただいている。

佐川委員：稲作協力委員とP T Aから最近では声がかからなかったが、以前は協力していた。

後藤校長：協力していただく方々を含めてこれからの稲作活動の形をどう作っていけばよいかと考えている。

牛村会長：もちつきに関してはどの程度の規模で実施するのかというところを提示してほしい。

関谷会長：本年度のような形でもちつきを経験させてもらったのはよかった。

佐川委員：もちつきに関してはそれぞれの工程(もちをつく、蒸す等)のできる人がいるので計画してもらいたい。

大河原委員：お飾りづくりに関しては本当にありがたいが、高齢者が非常に増えている。配付する対象も把握できていないところがある。

武井委員：門沢橋地区は一人暮らしの75歳以上の高齢者に配付しているが、この取り組みは非常に好評。何人もの方々がお礼に行きたいと言っている。

後藤校長：今は140程度作成することは可能。そのくらいの数であれば今後も対応

できる。

後藤校長：昔遊びはどうか。

武井委員：ゆめくらぶ（敬老会）が対応していたと思う。

佐川委員：昔うどん作り教室を3～4年やっていた。もし道具が今も家庭科室にあれば実施することは可能。指導者は今もいる。

後藤校長：教育課程で位置づけることができれば検討できる。

（5）その他

西海委員：不登校の状況について差し支えなければ教えてほしい。

後藤校長：年間200日の登校日のうち30日以上欠席がある児童については10名程度いる。別室での対応等を行っている。

大河原委員：卒業式、入学式の来賓についてですが、民生委員で参加できていない人もいますのでできれば参加できるようにしていただきたいのだが。

後藤校長：卒業式については学校運営協議会委員の方々のみのご案内をさせていただいているが、入学式に関しては状況が変わればご案内ができるかもしれない。

（6）挨拶